地歴科研究協議会報告

記録　菊　地　達　八

進藤：これから平成２９年度指導主事学校訪問地歴公民科の研究授業に関する分科会をはじめます。太田先生、授業お疲れ様でした。まずは、授業者の太田先生の方から授業のねらいや実践についてお願いします。

太田：授業参観していただき、ありがとうございました。参観していただいた通り、授業の時間管理が上手くいかなかった点が大きな課題にあります。今回の授業は言語活動の充実ということで、生徒自身の活動を多く設定しました。授業の始めに行った新聞発表については、毎年実施しており、前回の授業では労働格差について取り上げた生徒もおりました。現代社会は、現代の社会とリンクさせることが重要な科目です。いかにして現実の社会について取り上げるか考えたところ、新聞発表をさせることで現実の政治や経済につなげようと考えました。また、今年度から、新聞発表に対してコメントを書くようにさせることで学び合いにつなげる工夫をしました。新聞発表後、ペアで復習させる場面がありましたが、これについても毎回の授業で取り上げております。展開部では、実際にデカルト、カント、ベンサムの思想をもとに討論させるものでしたが、生徒には難しかったようでした。単なる討論では深まりがみられないため、思想家の立場で考えさせることで、生命倫理に関する諸問題についてジレンマを与えたいと考えました。しかしながら、生徒によっては思想家の復習不足もあり、そこまで到達することはできませんでした。本日は参観していただきありがとうございました。

進藤：次に参観されていた先生方一人一人にご意見伺いたいと思いますので、こちらからお願いします。

佐藤春：授業ありがとうございました。授業は現代社会でしたが、生物に近い内容も取り扱っていてとても勉強になりました。テーマが生命倫理ということもあり、科学を指導する立場として私自身も考えさせられました。指導については特に、思想家別に考察させる工夫が興味深かったです。私も、言語活動や思考させる場面で、視点や観点を明確にして実践していきたいと思います。教科・科目の違いはありますが、とても勉強になる授業でした。ありがとうございました。

我妻：授業ありがとうございました。以前学習した過去の知識を活用させながら、学習課題を解決に向かわせる手法が高度で、とても参考になりました。授業お疲れ様でした。

續：部活動や学年主任でお忙しい中での授業、本当にお疲れ様でした。また、地歴公民科がチームとして授業構築に携わっていた点もとても参考になりました。国語科としてもそ